

第9回大津市新型コロナウイルス感染症危機対策本部会議 概要

◎大津市内の大学の学生寮において集団感染が発生したことから、その現状について情報共有を図るために本部会議を開催したものを図るために本部会議を開催したもの。

1 日時 令和2年11月10日（火）13時15分～13時30分まで

2 場所 災害対策本部室

3 出席者 杉江副市長、各部局長等（約20人）

4 内容

(1) 市長メッセージ

別紙のとおり（会議資料参照）

(2) 市内の大学における感染状況について

【健康保険部 保健所】

- ・市内の感染状況の推移について11月9日時点で212名の感染者が確認。そのうち7月以降の感染者が181名となっており、ほとんどが7月以降で、いわゆる第2波からの患者が急増している状況である。
- ・感染者の推移について、4月の増加が市役所でのクラスター、8月の増加が老人施設でのクラスター、11月の増加が大学でのクラスターとなっている。
- ・大津市の感染動向については、滋賀県の感染動向と概ね似ている。

<大学クラスターに関する詳細について>

- ・11月7日に陽性患者が発表された後、調査、聞き取りを行い、寮生および寮の管理者を濃厚接触者に認定。
- ・寮の使用者が同じ部員であるため、寮生以外の部員も濃厚接触者に認定。
- ・11月9日時点の感染状況としては、寮生18名が陽性、残りの部員については陰性。→通いの部員の感染者はいないことから、現時点では寮内での感染に留まっている。
- ・大学の関係者における濃厚接触者についても調査中で、後日結果判明予定。
- ・今回のクラスター事案における対応として、寮生への指導等を迅速に実施した結果、それ以降の感染は防げている状況。
- ・学校施設などを調査し、基本的な感染予防対策は実施されていたことから、授業での感染はないと思われる。今後、大学関係者の検査結果を確認し、最終判断する。

<質疑>

【消防局】大学施設等における消毒の実施状況について。

【健康保険部 保健所】まずは寮の消毒から指示し、大学内は、陽性患者が長時間立ち入った場所などの消毒を指示。いずれも完了報告はまだ受けていない。

(3) 本部長代理（杉江副市長）からの指示等

- ・保健所については、疫学調査など引き続きお願いしたい。
- ・連日、感染が発生しており、濃厚接触者が特定されていく中で、様々なところで影響が生じる可能性があるため各部局間で情報共有し迅速な対応をお願いする。
- ・滋賀県においては昨日9日の知事の会見で、重症患者が少ないため、ステージは上げないものの改めて注意が必要とされた。本市においても感染予防対策の徹底を図ること。